

がん相談の対応部署・内容

がん相談支援科

- 医療機関の紹介
- セカンドオピニオンについて
- 担当医との関係の調整
- 療養上の不安等
- どこに相談したらよいかわからないこと

予約不要 平日8:30～17:00まで



専従 石田

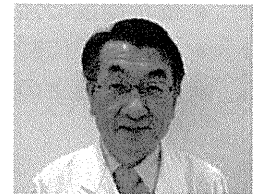


専任 金元

がん相談の対応部署・内容

医師

- 専門的な治療内容や方法について



がん相談の対応部署・対応内容

地域医療連携室

- セカンドオピニオン外来
- 退院・転院支援
- 在宅療養支援



がん相談の対応部署・対応内容

緩和ケアチーム看護科長(専従)

- 日常生活上の不安
- 療養上の不安(薬・食事等)
- 家族の不安(療養中や死別後)
- 緩和ケアについて
- 症状相談
- 自己決定への助言



がん相談の対応部署・対応内容 医療ソーシャルワーカー

- 医療費の助成もしくは公費負担に関すること
- 福祉制度の活用(申請や手続き)
- 所得保障に関すること
- 社会生活上の困難への対応



がん相談の対応部署・対応内容 臨床心理士

- 不安・抑うつ・悲嘆への心理支援
- ストレスへの認知対処
- 混乱や動揺への心理サポート
- 家族の不安、葛藤へのカウンセリング



がん相談の対応部署・対応内容 医事課

- 医療費の試算

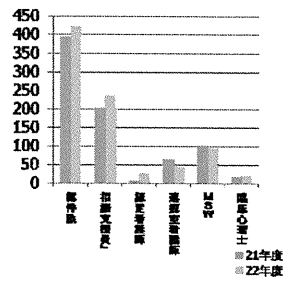


資料コーナー



相談件数

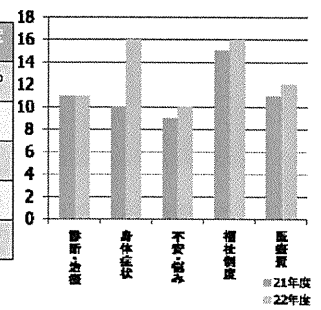
	21年度	22年度
総件数	394	420
相談支援員	203	236
認定看護師	7	27
連携室看護師	64	43
MSW	102	95
臨床心理士	18	19



13

相談内容まとめ

	21年度	22年度
診断・治療	10.8%	10.9%
身体症状	10	15.6
不安・悩み	9	10
福祉制度	14.8	16.3
医療費	11.4	12.1



がん診療連携地域住民公開講座



平成21年2月 第1回開始
今月で8回目を迎えます
患者さまのご意見からうまれた
講座です。



15

患者会と連携

ワコール展示相談会(年1回)
スペンソ化学療法頭皮ケア・
リプロ術後下着相談会を
月に2回



リンパ浮腫セルフケア研修会



患者会への参加、患者サロンを行う中で
リンパ浮腫のセルフケアを行う能力が
十勝にはないことを実感
研修会、アンケート、患者自身からセラピスト
養成の要望あり 病院に意見提案 了承を
受ける。23年度セラピスト養成予定

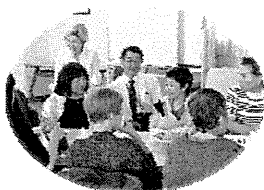
16

患者サロン



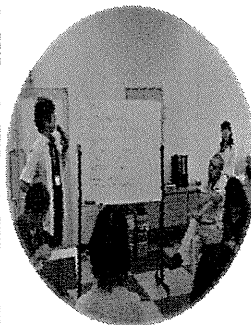
月に1回みんなと会えるのが
楽しみ
気晴らしになる・一人では
悪いことばかり考えるなど
ひとときの慰めになっている

22年度7月から開始
定例で毎月第2水曜日 14:00
から2時間程度
ミニ講義、談話茶話会
出席は10～20名



17

緩和ケア研修会



緩和ケア研修会は緩和ケアチームと連
携し、21年度から
開始し、3回を終了しました
十勝管内の病院・医院へ研修会
の案内を発送しております。
全部で54名の医師が参加されました。

18

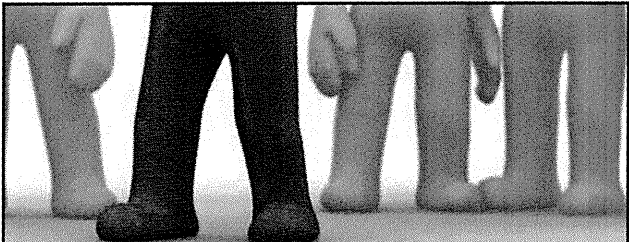
演題 7

**相談支援センター発信：地域連携
ネットワーク構築への取組**



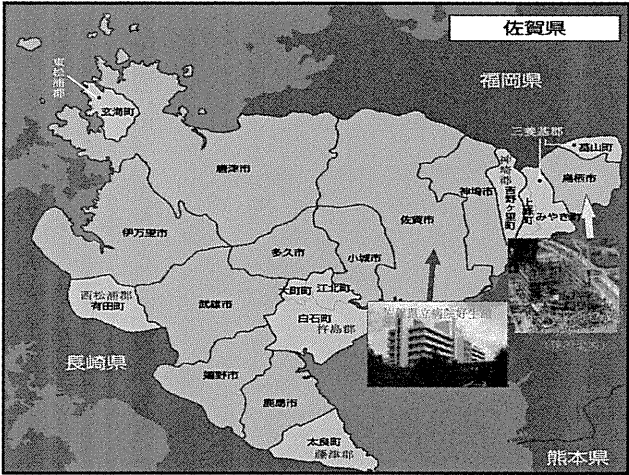
大石 美穂

佐賀県立病院好生館



相談支援センター発信：
地域連携ネットワークの構築への取組

地方独立行政法人 佐賀県立病院好生館
相談支援センター 大石 美穂



概 要

佐賀県立病院好生館
SAGA PREFECTURAL HOSPITAL KOSHIN KAN

前身	佐賀藩医学館、好生館
標榜診療科	内科 循環器内科、精神科、小児科、 外科、心臓血管外科、整形外科、 脳神経内外科、 皮膚科、泌尿器科、産婦人科 眼科、耳鼻いんこう科、放射線科 麻酔科、 救急科、緩和ケア科、感染制御部

概 要

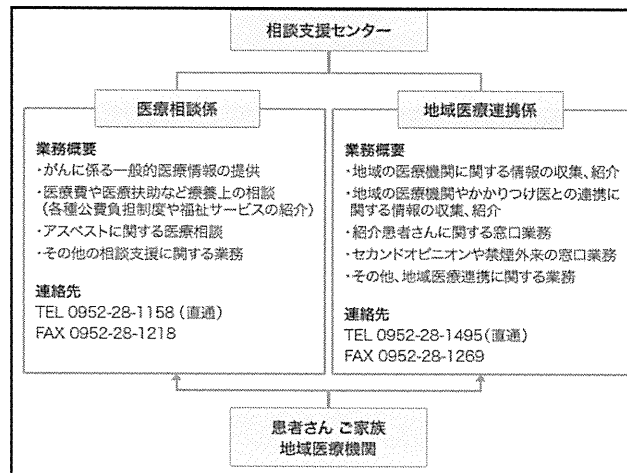
佐賀県立病院好生館
SAGA PREFECTURAL HOSPITAL KOSHIN KAN

許可病床数	453床（感染症病床：6床・一般病床：447床）
平均外来患者数	約700人/日（H23・6月現在）
平均在院日数	約13.3日（H23・6月現在）
相談支援センター	地域医療連携係 7名 医療相談係 5名（MSW 3名・事務補助 2名）

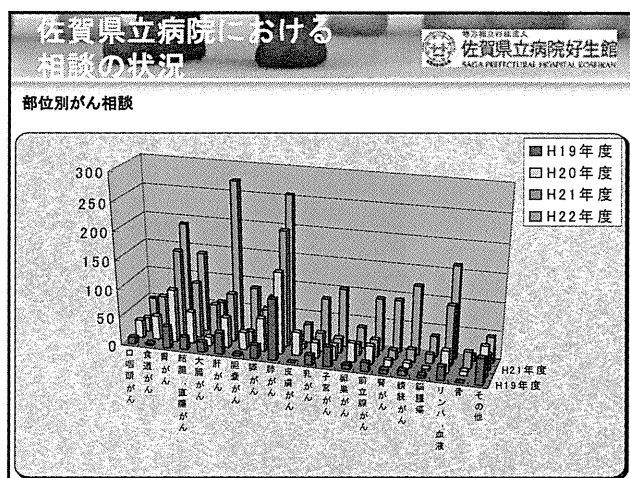
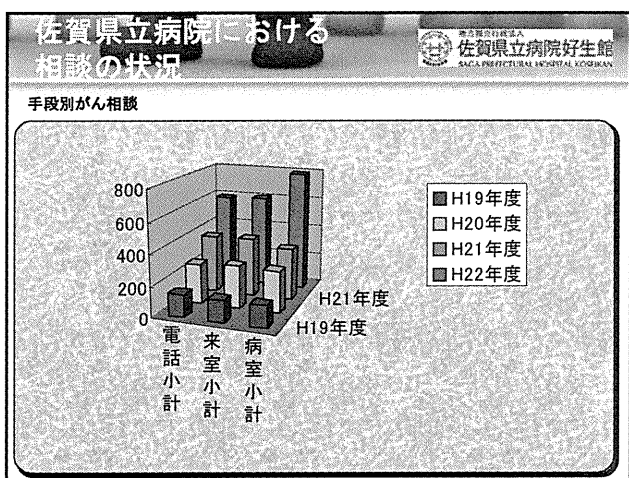
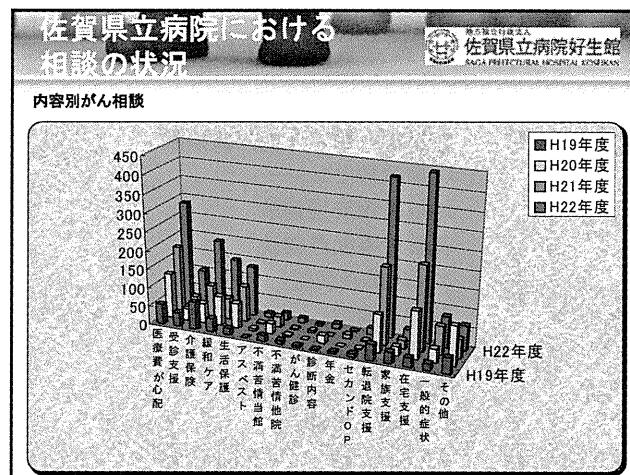
佐賀県立病院の特色

佐賀県立病院好生館
SAGA PREFECTURAL HOSPITAL KOSEIKAN

- ・ 地域がん診療連携拠点病院
- ・ 救命救急センター
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 基幹災害拠点病院
- ・ エイズ拠点病院
- ・ 開放型病院
- ・ 臓器提供病院
- ・ 臨床研修指定病院
- ・ 関連教育病院



佐賀県立病院の 相談状況	
年度	がん相談件数／全相談件数
19	432 / 2,174
20	808 / 3,149
21	1,106 / 4,843
22	1,992 / 7,419



佐賀県立病院相談支援センター
での相談ニーズ

佐賀県立病院好生館
SAGA PREFECTURAL HOSPITAL KOSHOKAN

・地域特性

在宅医療への不安・・・限られた資源
緩和ケア科への赴任医師より訪問診療や
緩和ケア病棟の入棟待ちの受け入れ医療機関を
開拓したいとの相談

肝細胞癌の治療や予防相談・・・平成11年以降がん死亡率全国ワースト1位

佐賀県立病院相談支援センター
での相談ニーズ

佐賀県立病院好生館
SAGA PREFECTURAL HOSPITAL KOSHOKAN

そこで、取り組んだことは

・相談支援センター発信の多職種参加の症例検討会企画で
ネットワークづくり

・各場面での充実した情報提供

県立病院相談支援センター発信
地域連携ネットワーク構築の取り組み

佐賀県立病院好生館
SAGA PREFECTURAL HOSPITAL KOSHOKAN

～相談支援センターを知り、利用してもらうためのPR活動の実施～

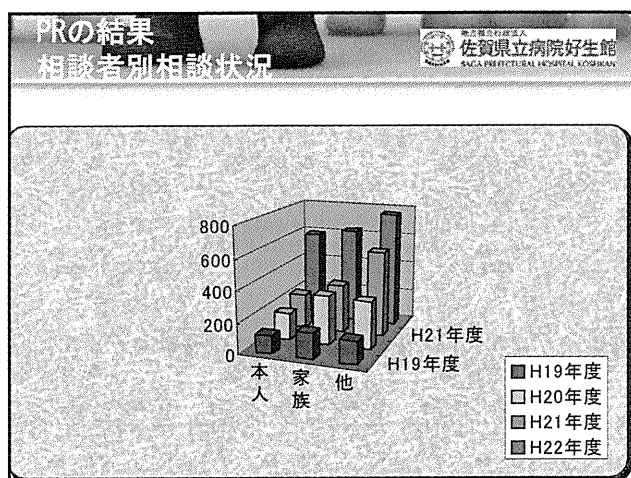
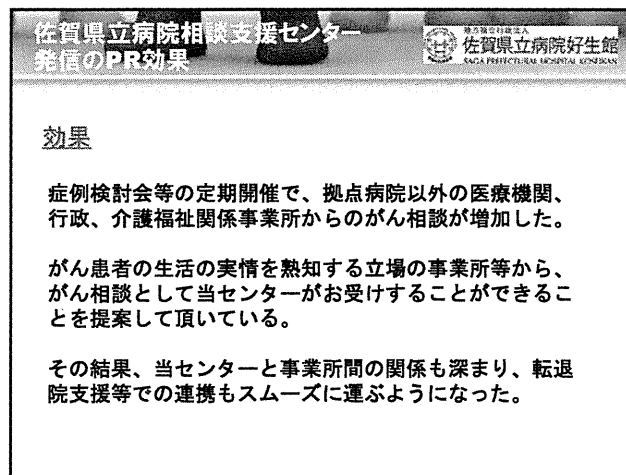
19年度	・地域の研修会への参加
20年度	・ポスター、チラシを作成し、県内医療機関に配布 ・STS(サガテレビ)に社会福祉士が出演し、「がんになったら手にとるガイド」PR ・相談支援センター企画運営の緩和ケア症例検討会の開催
21年度	・ポスター、チラシを作成し、県内医療機関、行政、圏域公民館に配布 ・相談支援センター企画運営の緩和ケア症例検討会の開催 ・相談支援センター社会福祉士への講師依頼4件
22年度	・ポスター、チラシを作成し、県内医療機関、行政、圏域公民館に配布 ・相談支援センター企画により国立がん研究センター東病院 小川朝生先生の 医療福祉専門職対象がん講演会開催 ・相談支援センター企画運営の緩和ケア症例検討会の開催(1回/月程度) ・相談支援センター企画運営の化学療法患者会の開催(1回/2月) ・相談支援センター企画運営の訪問診療・訪問看護・居宅介護支援事業所連絡 会の開催(1回/半年) →顔の見える関係づくりの構築 ・相談支援センター社会福祉士への講師・シンポジスト依頼7件

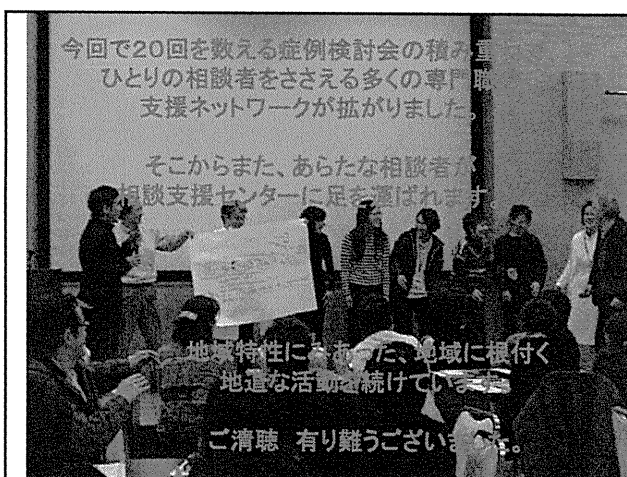
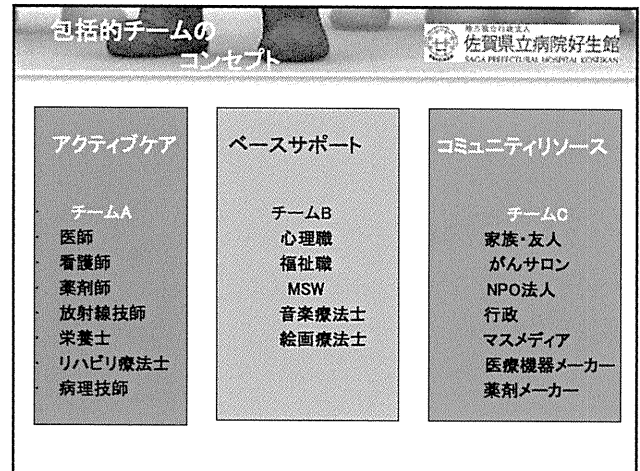
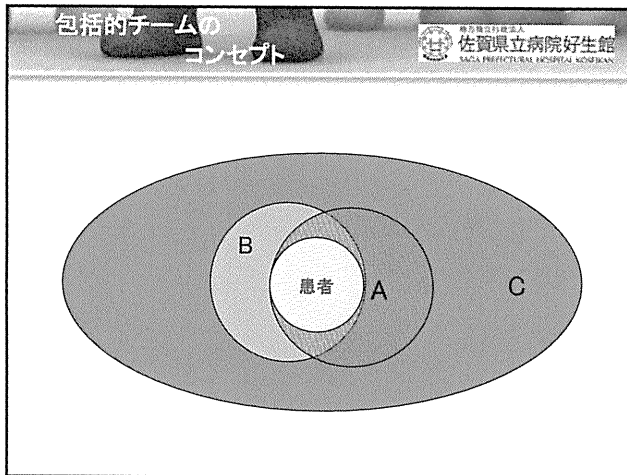
県立病院相談支援センター発信
地域連携ネットワーク構築の取り組み

佐賀県立病院好生館
SAGA PREFECTURAL HOSPITAL KOSHOKAN

～相談支援センターを知り、利用してもらうためのPR活動の実施～

23年度 実施と計画	・ポスター、チラシを作成し、県内医療機関、行政、圏域公民館に配布 ・相談支援センターが事務局となり、『好生館だより』を作成。全国拠点病院へ送付先 を拡大(7月の第11号から) ・相談支援センター企画運営の緩和ケア症例検討会の開催(1回/2月程度) ・相談支援センター企画運営の化学療法患者会の開催(1回/2月) ・相談支援センター企画運営の訪問診療・訪問看護・居宅介護支援事業所連絡会の 開催(1回/半年) →顔の見える関係づくりの構築 ・相談支援センター運営の情報提供コーナーの拡大設置(8月) ・相談支援センター企画により拠点病院共催の県民公開講座開催(12月3日) ・相談支援センター社会福祉士への講師・シンポジスト・コーディネータ依頼12件 ・STS(サガテレビ)出演、佐賀新聞・西日本新聞掲載 ・日本癌治療学会示設発表エントリー「相談支援センターが地域に根付くプロセス②」
---------------	---





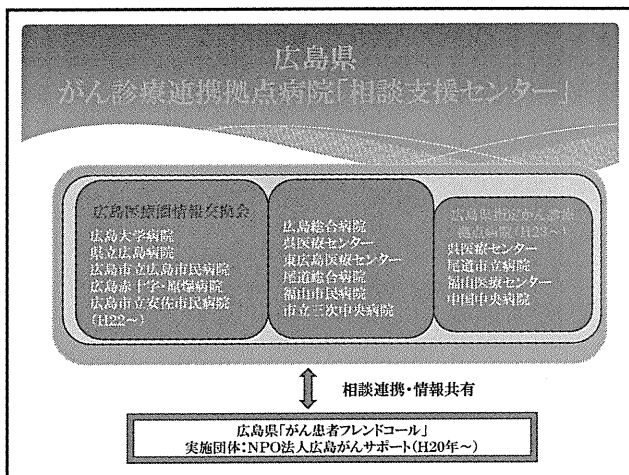
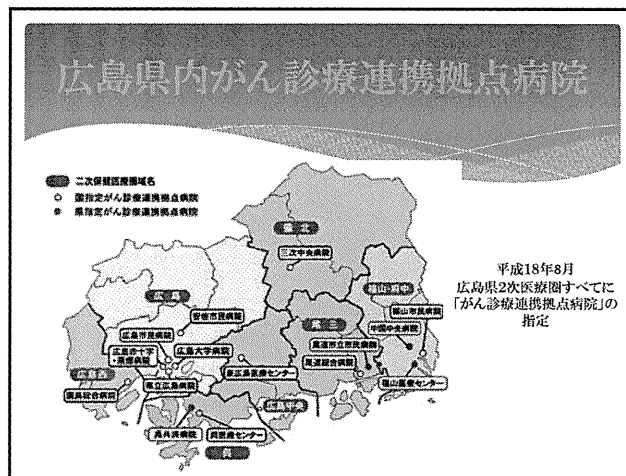
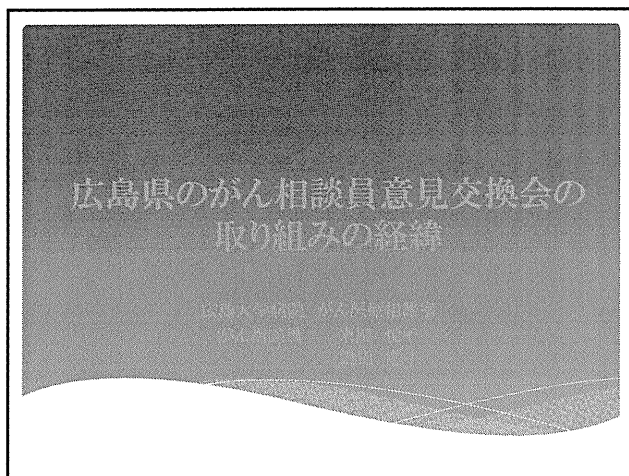
演題 8

広島県のがん相談員意見交換会の
取り組みの経緯



米田 悦子・織田 浩子

国立大学法人 広島大学病院



広島医療圏
 I. がん相談員情報交換会の経緯
 第1回～第6回

- * 平成19年2月～開催(毎月定例)
- * 目的: 広島医療圏 がん診療連携拠点病院間の連携体制及び機能の展開
- * 主体: 広島県
- * 内容: ①4病院のがん相談支援センターの連携構想
 ②相談支援センター業務内容の機能展開方法
 ③各病院相談支援センターの現状について

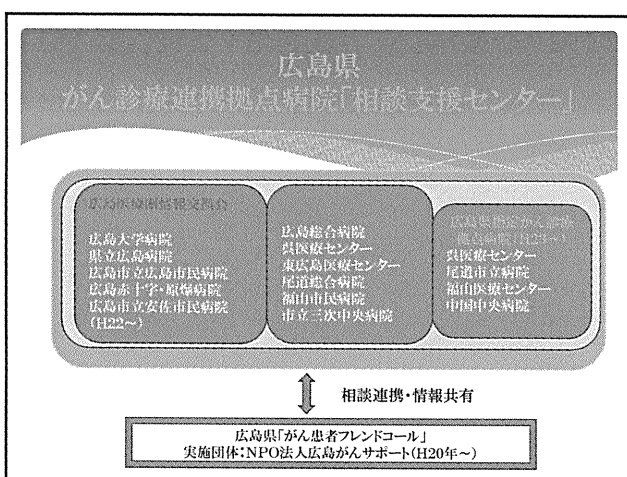
広島医療圏
Ⅰ. がん相談員情報交換会経緯②
第7回以降

- * 第7回～ 4病院が持ち回りで毎月定例で開催
- * 目的: ①がん相談員の情報交換の場
 ②協同で効率的におこなう情報収集及び広報
- * 主体: 広島医療圏4病院(平成22年から5病院)
- * 内容: ①在宅医療調査
 ②セカンドオピニオン調査
 ③市民講演会開催 他

広島医療圏
Ⅰ. がん相談員情報交換会成果

- ①在宅調査: 相談員だけでなく退院調整部門で活用
- ②セカンドオピニオン: 情報提供に活用
- ③市民講演会:
 平成21年～年1回開催(今年度第3回)
 第1回: 相談員、事務中心
 第2回～: 副病院長「懇談会」→「実行委員会」開催

顔の見える情報交換、連携スムーズ



広島県内
Ⅱ. がん相談員意見交換会の経緯

- * 開催: 平成19年3月～ 1回/3ヶ月開催
- * 目的: 情報交換を通し広島県の相談員の資質の向上とネットワーク作り
- * 主体: 平成19-20年度は県拠点病院
 平成21年度～拠点病院持ち回り→申し合わせ作成
- * 内容: ①各病院の現況報告、情報提供
 ②事例検討、講演会
 ③その他 など

Ⅱ. がん相談員意見交換会の成果

- * 広島県内情報が入手しやすい
- * 広島県内でのつながりが強くなり、患者に紹介しやすい
- * サロン立ち上げなど情報交換により、全病院開催へ
- * 講演会等開催企画、学習と情報収集の機会
- * 県のがん対策課やNPOがんサポートの相談員とも、情報提供や意見交換可能

県内全体で同一情報共有・ネットワーク強化
相談員の質向上への一歩

今後の課題と取り組み

具体的な取り組み

- * 広報活動
- * データ分析
- * 各種情報収集
- * マニュアルづくり
- * 研修会
- * 意識調査

ネットワークの強化

相談員の質の均てん化



参考資料

平成27年 6月13日開催
平成27年 6月16日開催

がん県民相談員意見交換会の運営に関する報告書

この報告書は、広島県内のがん県民相談員意見交換会に設置されているがん相談センター等
の県民相談員意見交換会の運営に関する報告書とする。

(目的)

第一、がん相談員意見交換会は、県内のがん県民相談員意見交換会に設置されているがん相談
センター等を通じて、相談員間の意見交換の促進とネットワークの強化を図る。

(運営)

第二、意見交換会の運営については、次のとおりとする。

- ① 意見交換会は、4ヶ月毎に1回開催を行う。
- ② 開催日は土曜日とし、開催時間は1時間とする。
- ③ 開催場所は、県民相談センターとする。
- ④ 開催場所は、各県の県民相談センター、関係機関及び意見交換会での実行を要する
ものとする。
- ⑤ 意見交換会において、その開催地・参加者等に関する報告を行う。
- ⑥ 必要に応じて、意見交換会にがん県民相談員意見交換会事務局以外の関係者も参
加することができるものとする。

(その他)

第三、この報告書のほか、意見交換会に関する事項は、意見交換会において検討する。

開催日時	開催場所	参加者数	開催内容
平成27年 6月13日	広島県民相談センター	12名	がん相談員意見交換会
平成27年 6月16日	広島県民相談センター	12名	がん相談員意見交換会

演題 9

奈良県 がん相談支援分科会の
取り組み



川本 たか子

奈良県立医科大学附属病院

奈良県 がん相談支援分科会の取り組み

奈良県立医科大学附属病院
 医療サービス課医療相談室主幹
 川本 たか子

奈良県をご案内

知れば知るほどおもしろい

* 人口 1, 395, 764人 今年6月

* 遷都1300年 昨年でした。

世界遺産 文化遺産が県内に3か所
 法隆寺地域の仏教建造物(斑鳩町)
 古都の文化財(奈良市内)
 鹿男 あをによし
 紀伊山地の霊場と参拝道(熊野古道)

奈良県のがん医療

* がん死亡者 3815人 (2008年)
 総死亡数の3割 全国並み

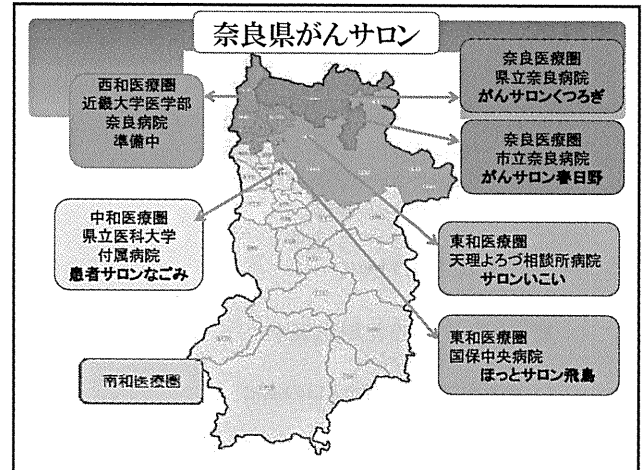
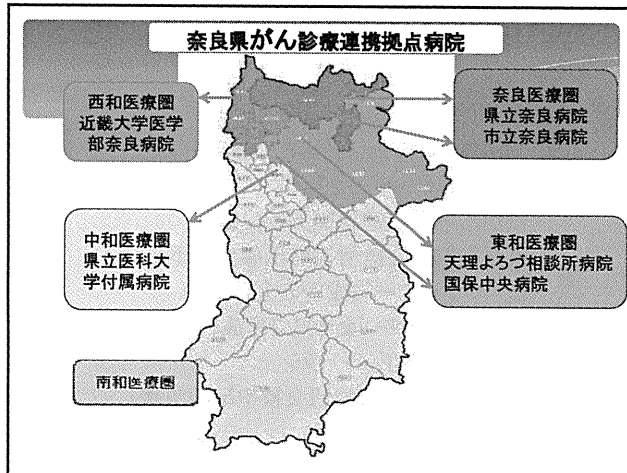
* がん対策推進計画の策定 2010年

* アクションプランの策定 2011年
 がん対策が遅れている県
 現場はそれなりに頑張っています。

* 妊婦搬送でのトラブルがありました 2008年
 パースセンターオープン

奈良県のがん医療

がん医療機関	数
がん診療連携拠点病院	6施設
がん医療を行っている医療機関	41施設
放射線治療を行っている医療機関	7施設
緩和ケア病棟	1施設20床
在宅緩和ケア診療所	37施設



相談支援センター		
名 称	相 談 員	特 徴
奈良医科大学付属病院 医療相談室	看護師(副看護部長) 社会福祉士	都道府県がん診療拠点病院
県立奈良病院 相談支援室	認定看護師 臨床心理士	地域がん診療連携拠点病院
天理よろづ相談所 がん相談支援センター	認定看護師 社会福祉士	地域がん診療連携拠点病院
市立奈良病院 地域医療連携室	社会福祉士 社会福祉士	地域がん診療連携拠点病院
近畿大学奈良病院 地域医療連携室	社会福祉士 社会福祉士	地域がん診療連携拠点病院
国保中央病院 地域支援センター	看護師 社会福祉士	奈良県地域がん診療拠点病院 緩和ケア病棟「飛鳥」

相談支援分科会の成り立ち

※ 2009年3月奈良県がん診療連携協議会
相談支援分科会として発足

以後定期で開催
開催日 3月 6月 9月 12月
第 1 木曜日
17 時30分から 19 時
場 所 奈良県立医科大学付属病院

分科会の成果

- ★21年度 情報交換と人間関係づくり
 - ・ 各相談支援センターの状況把握
 - ・ 交流会で人間関係強化
- ★22年度
 - ・ 行政(県)との協働
アクションプラン策定
 - ・ 患者の声を聴く
- ★23年度(予定)
 - ピアサポーター・患者支援と協働
 - アクションプランの実行
 - 相談支援・情報提供窓口の強化
 - 相談員必携の作成

分科会の成果

- ★県企画の研修会や会議には積極的に参加
 - がん相談コーナーを担当
 - 県がん対策推進協議会の委員
 - 県がん相談支援情報提供部会の委員
 - ピアサポーター養成研修会の講師
- ★チラシやポスターは共同で作成して利用
 - 患者サロン案内のチラシ
- ★患者支援に活用(情報交換や継続支援)

患者のニード調査で

- ・ 主治医のほかに相談先がない。
- ・ 精神的サポートが少ない
- ・ 緩和ケアについて知らない人が多い
- ・ 緩和ケアの経験者が少ない。
- ・ 相談支援センター知らない人が多い
- ・ 相談支援センターの利用者が少ない
- ・ がんの医療費に関する情報が少ない

2010年12月 がん医療に関する調査
患者・家族・遺族を対象(664件)

課題

- * 相談支援センターの周知と利用の促進
- * ピアサポーターの支援
- * 患者サロンの開設
- * 南和医療圏に相談窓口、患者サロンの整備

- * 分科会(交流会)の充実

ご清聴ありがとうございました

奈良公園
ライトアッププロムナード・なら
7月16日から9月25日
この夏奈良をお尋ねください